

ふれあい新聞 100号 記念号

平成23年10月 田中野田町内会

ふれあい新聞100号おめでとう

田中野田町内会 元会長 3組 和気 加太志

昭和の終わりから平成の初めにかけて行われた「田中野田土地区画整理事業」により、稲穂の波は都市化の波に一変してまいりました。

私共の先祖が、かつて経験したことのない画期的な転換期を迎えております。その結果、人口は急激に増加し、ふれあい豊かな住みよい街づくりが一層求められるようになりました。

「田中野田土地区画整理事業」が行われた当時の「中尾佐之吉」町内会長は、「ふれあい豊かな住みよい田中野田を目指して、助け合うまち きれいなまち 楽しいまち」という街づくりを町内会のテーマとして、豊かなふれあいを目指し努力してまいりました。特に町内の新聞発行や夏まつりに重点的に取り組み、皆様の期待に応えてまいりました。

私は中尾町内会長の後任として、引き継いでこの町内会のテーマを実現するため、12年間微力を尽くしてお手伝いをさせて頂きました。その後、「和気健」町内会長の時代となり、皆様に喜ばれる充実した

新聞が発行されるようになりました。

ふれあい新聞は25年の間、皆様に愛され親しまれ、一度の休刊もなく今日を迎えることができました。平成12年には、ふれあい新聞特別号として「写真で見る区画整理で生まれ変わった田中野田」が発行されました。長い間、毎回編集に携わって頂いた関係者の方々に、100号の記念にあたり皆様と共に心より感謝申し上げます。

この町内を愛し育てていくのは、ほかでもないこの地域に住む私達であります。ふれあい新聞をはじめ夏まつりや電子町内会等の情報活動やふれあい活動を通して、高齢者の方々をはじめ田中野田に住むすべての人々が生きがいを求めて、更に素晴らしい住みよい町内にしていきたいと思っております。

そのためにも、ふれあい新聞の今後の益々の発展を祈念致しております。

創刊当時を振り返って

田中野田町内会 副会長 2組 横野 良典

ふれあい新聞100号記念、創刊号(昭和62年)以来25年間、本当に長く続けていただき代々役員の方々に感謝申し上げます。

振り返れば30年前に町内会役員の理事をやりました。当時の町内会長は「中尾佐之吉様」で、当時の町内会世帯数は250~300ぐらいかな・・・、もちろん御南小学校も御南大橋も180号西バイパスもなく、今保・久米・西長瀬・田中全地域西小学校でした。ちょうどこの時期から田中野田の「村おこし」が始まった。

昭和59年に第1回夏まつり開催、秋には子ども会秋まつり、だんじりに乗みこし、当時の子ども会員全員入部で100名足らず、第1回のテーマが「広げようふれあいによる地域の輪」現在でも十分通用するテ



ーマではないでしょうか？そこで当時「輪」を増やしました。「ソフトボール愛好会」「町内ゴルフ愛好会(早打会)」「銭太鼓同好会」「町内運動会」と次々と輪を広げた日がついこの前のように思い出されます。

今後とも「ふれあい新聞」が、町内にとってかけがえのないものとして、ますます重要な役割を果たすものと思っております。関係者の皆様には大変ご苦勞のことと思っておりますが、よろしくお願いたします。